

多喜浜校区まちづくりタウンミーティング 開催結果報告書

開催日時 令和4年7月1日（金） 19時～20時30分
場所 多喜浜公民館
司会・進行 多喜浜校区連合自治会長
参加者数 男 33 女 12 合計45人



1. 市の重点事業に関する質問

【質疑応答】

（質問者）

滝の宮が素晴らしい公園に生まれ変わったが、残念ながら駐車場がない。何か対策は考えられているか。

（市長）

特に土日などは混雑し、県道まで溢れている状態。シルバー人材センターの隣地に駐車スペースがあるが進入路が狭く、地元自治会の通行許可が得られていない。

すぐの駐車場整備は困難であり、今年の夏休みについては、あかがねミュージアムの第2駐車場からシャトルバスを出し、対応したいと考えている。

その後は、駐車場整備、あるいは先の駐車スペースの利用ができるよう、粘り強く交渉していきたいと考えている。

（質問者）

新居浜港線であるが、本郷の線路前での渋滞がひどい。

(市長)

鉄道のアンダーパス工事は終了し、滝の宮橋の拡幅もバイパスの開通と同時のめどが立ったため、これにより渋滞も緩和されると考えている。

2. 校区課題

課題① 阿島川の護岸工事について

【質疑応答】

(質問者)

阿島上自治会館近辺の阿島川護岸は、自然堤防となっており、大雨時の増水による決壊を懸念している。人工護岸化を希望する。陳情もさせてもらったが、今のところ回答がない。土砂災害警戒区域が地域に多いが、避難するとなると自治会館が一番近いのだが、現状では不安がある。

(建設部長)

当該区間は、従前は背後地が低利用地のため護岸未整備の状態となっているが、阿島川は県の管理河川であるため、地方局河川港湾課に確認したところ、近年、阿島上自治会館が建設され、災害時の避難所としても登録される予定と伺っているため、今後、護岸整備を検討していく、との回答を伺った。

市としても今後の河川整備について県と協議していく。

※ 再検討事項・・・なし

課題② 阿島川河口部の護岸について

【質疑応答】

(質問者)

阿島川河口部の護岸の高さは、津波によるバックウォーター現象を考えると十分ではないのではないか。かさ上げを希望する。

両岸の堤防は最初、昭和30年代に整備され、その後パッチワークのように補強されているが、老朽化が進んでいると思われる。アツケシソウの世話をされていた方のお宅の近辺などは、ずいぶん亀裂も入っている。

2年前の台風時には潮位が上がり、もう少しで越水するような状況であったこともあり、高さは足りないのではないかと。塩田以来の歴史も見ても、悪い気象条件が重なると水位は非常に高くなる地域である。

黒島側は邪推だが、工業団地を守るためか、一段、堤防が高く整備されている。

また、新居浜は礫岩が地盤となっており、非常にもろい。その上に立っている堤防であるが、南海トラフの3.2mの津波に耐えるものであるのか。

短期的にはかさ上げを、中・長期的には刷新をお願いしたい。地域住民の生命と財産を守

るため、お願いしたい。

(建設部長)

防災マップにも、お話しいただいた内容が表されていると考えている。阿島川近辺は、津波による浸水区域となっている。

また、パッチワークのような補強と言われた部分は、写真のこの辺りの部分を指していると思われるが、特に途中から低くなっている部分があるのは私も確認しており、状況により越水、浸水する可能性もあるのではないかと考えている。この件についても、地方局の担当課に確認したところ、「現状は把握しており、阿島川河口部は、一定規模以上の津波の水位に対して護岸高が不足しているため、南海トラフ地震などの巨大地震発生時には、津波による浸水被害の発生が想定される。今後、燧灘沿岸、新居浜市の沿岸はほとんどが同じような状況であるが、津波対策について新居浜市とともに協議を進めていくこととしているが、ハード対策には多くの費用と期間を要するとともに、対応できる津波の規模にも限界があるため、避難を中心としたソフト対策と一体的に検討していくことが重要と考えている」、との回答であった。

市としても、Jアラートの緊急地震速報、防災ラジオなど様々な手段を通じて、ソフト対策を充実し、市民の方への避難対策の徹底、情報の周知、連携に努めていく。管理者である県と、今後も連携を図っていく。

(質問者)

阿島川が越水すると30分以内に、この辺りは90cmの浸水があると見込まれている。東日本大震災時のバックウォーターを見ると溯上スピードが速く、お年寄りや子供が30分以内に避難するのは難しいのでせめて1時間くらいは避難の時間が稼げるような堤防高さが望ましいと考える。

公民館の避難所としての収容キャパも考慮して欲しい。

(質問者)

阿島川は土砂で埋まってしまっている。取り除けないか。

(建設部長)

予算のこともあるが、ご相談いただいたら、県に伝えさせていただき、浚渫にも取り組んでいきたい。

※ 再検討事項・・・なし

課題③自治会活動のスマート化について

【質疑応答】

(質問者)

市と自治会とのやり取りが紙ベースとなっており、お互いの効率向上・負担軽減のため、デジタル化を加速していただきたい。

会長となり、自治会行事の多さに加え、コミュニティ行事の多さに驚いた。先般の自治会長アンケートでも、私と同じような悩みを持つ会長さんが多いのだと感じた。

新田自治会は執行部役員全員がフルタイムで勤務しており、市の業務時間と被っていることから、書類の提出・要望などがある場合、誰かが休みを取っていかなくてはならなくなる。あるいは身内に頼むしかない。

全ての自治会ができる訳ではないと思うが、できるところから手続のデジタル化を他市町に先んじて進めて欲しい。市の方で入力フォームを作成し、自治会はスマホなどから、そのフォームにアクセスできるようにするとか。それができれば、市役所に行かずとも手続が終了し、お互いの負担が減少する。

人口減少により役員のなり手が益々少なくなっていく中、自治会存続のため、デジタル化により、負担軽減を図っていただきたい。

(市民環境部長)

市と自治会における提出書類のやり取りは、紙ベースが基本となっているが、提出様式のダウンロードや電子データのメール送付など、性質上、実現可能なものについてはデジタル化を行う。

また、自治会役員におけるデジタル化支援は、自治会長さんたちの負担軽減策の一つとして有効と思われるため、初心者向けスマートフォン教室の実施など、県におけるデジタルデバイス対策事業等も活用しながら、自治会活動のデジタル化について支援を行っていきたいと考えている。

(質問者)

市のラインの簡易版を新田で導入できないか考えている。自治会の情報を会員に発信したいと考えているが、紙ベースでは限界がある。デジタル化を進めることで、市も自治会もレスポンスが良くなる。

(質問者)

今の話は、全自治会長さんが対応するのは難しいと思うので、対応が可能な人から導入していくということをお願いしたい。

※ 再検討事項・・・なし

3. その他

質問：若者に対する政策について

(質問者)

将来、人口が10万人を切ることも想定されている中、高齢者・子供に対する政策には取り組んでいるが、若者に対する政策が無いことで、人口減少が進んでいくように思われる。

20年くらいのスパンで、20代・30代の人への政策に取り組むべきではないか。

(市長)

国もそうだが、実年・若者対策は確かに薄いと感じている。最も中心で働いている世代・若者に対する政策としてどういったことに取り組んでいくべきか、皆さんと一緒に考えて

いきたいと思っている。

ただ、子育てに関する支援施策は、力を入れて実施ができていると考えているので、子育て世代そのものに対する支援を今後、皆さんと考えていきたい。

※ 再検討事項・・・なし

(質問者)

13年前に新居浜に帰ってきて、10円プールが存続していることに驚いた。受益者負担ということも考えるべき。赤字が出ているであろうし、子育てというが、少し市民も甘えすぎではないか。

(市長)

10円プールは非常に人気となっている。それにより市の良さがPRできているということもある。確かに10円・60円と安いのが、古いプールでもあり、皆さんから値上げをという声が多数寄せられるようであれば別だが、今さら値上げは困難で、新しいプールができるときに考えたい。

※ 再検討事項・・・なし

市長まとめ

- ・阿島川護岸の件、私も地方局に出向いて検討していただくようお願いしていく。
- ・自治会の諸手続のデジタル化については非常に良い取組と考える。可能なところから進めていく。
- ・新型コロナ感染が拡大傾向。ワクチン接種4回目も始まっているので、ぜひ接種を。
- ・水不足が懸念される状況であり、節水に協力を。
- ・マイナポイント、ぜひ活用を。